

編集手帳



残暑が終わり、ようやく秋らしくなってきたなと思う今日。最近あった病棟での新型コロナウイルス流行を振り返りながら、やはりコロナの終息は遠そうだなと思いを巡らせインターネットニュースを眺めていたおり、とある記事が目にとまった。「レプリコンワクチン接種者、入店お断わり」何だこれは？ コロナワクチンを打ったら感染が広がる懸念がある？ 私の頭の中は大混乱である。

時を同じくして、友人からコロナワクチンを打つべきか相談があった。そう、話題のレプリコンワクチンを、である。医学の専門家として、ここは的確なアドバイスをしたいところだが、まったくお恥ずかしいことに私はレプリコンワクチンが何なのかも知らず、Google で検索することから情報収集を始めた。Pubmed で原著論文を閲覧し、レプリコンワクチンとは新しいタイプの mRNA ワクチンで、細胞に入った mRNA が自己増殖することで免疫獲得の効率と効果の持続時間が改良されたワクチンであることをようやく理解した。ワクチン接種が感染につながる科学的に妥当な根拠は見出せなかったため、私からすれば十分妥当なワクチンと思えた。

医療を受ける大多数は専門的知識のないことが多く、医療の妥当性や安全性に疑いの目を向けられた際に、納得のできる説明を行う必要がある。最近インターネットや SNS で膨大な情報が得られる時代であり、いうなれば情報武装されていることもしばしばあり、生半可な説明では納得が得られないことも増えてきた。先日、外来で患者さんから「BNP 値が正常範囲から逸脱していますが、私は心臓に問題があるのではないですか？ 大丈夫なのですか？」とかなり不安な表情で質問を受けた。どうやらインターネットで心不全について調べたことをきっかけに一気に不安になったとのことであった。そもそも心疾患がある方と健康人とは目指す BNP の値が違うことは当然なのだが、こんこんと丁寧に説明して何とか安心していただけた。たまたま専門の循環器領域だったからよかったものの、門外漢の分野の検査値が話題だったらどうなっていたか。内科医は専門以外にも幅広い知識が必要である。非専門分野の検査値についても造詣を深めるよい機会だなと、本誌を手にするのであった。

牧 尚孝

臨床雑誌 内科 第 134 巻 6 号(第 810 冊) 2024 年 12 月 1 日発行

監 修：杉本恒明 黒川 清 矢崎義雄 木村 哲 小俣政男 宮坂信之 永井良三
編集委員会：神田善伸(委員長) 立石知也 牧 尚孝 岡本 耕 辻本哲郎

編集兼発行者：東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号 小立健太
印刷 所：東京都江東区亀戸七丁目 2 番 12 号 三報社印刷株式会社
装 丁：渡邊真介

発 行 所
株式会社 南江堂

〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号
出版(「内科」編集室直通) Tel: 03-3811-9984 Fax: 03-3811-8660
営業(販売 1 課/卸) Tel: 03-3811-7239 Fax: 03-3811-7230
<https://www.nankodo.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(Tel: 03-5244-5088, Fax: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

図書館等のご利用にかかわる指針は弊社ホームページ(弊社著作物の利用について <https://www.nankodo.co.jp/pages/crp.aspx>)からご確認ください。

広告申込所 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-24-6 本郷大原ビル 6 階 株式会社文京メディカル(Tel: 03-3817-8036)